日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀（樟山みき）活動報告

2016, 2, 26　NO, 184

連絡先　荻窪5－15－19－704　電話・FAX　5932－6170
区議会控室　3312－2111（内）2319

財産交換　自民・公明・未来・平和の賛成で委員会可決

失政のツケを区民に負わせることは許されない！

２月24日（水）区議会総務財政委員会で、あんさんぶる荻窪と荻窪税務署等の財産交換についての議案が審議されました。傍聴席は大勢の区民で満席となりました。

「カラ手形」の責任に触れず

審議では、Ｈ22年に田中区長が財務省あてに提出した文書が焦点になりました。荻窪駅前開発のために税務署を賃料無料で駅前に移設し、Ｈ26年度供用開始を約束したものの、用地を確保できず、国への約束はカラ手形となったものです。

区は、カラ手形を交わした責任については一切言及せず、苦肉の策として、あんさんぶる荻窪を差し出すに至った失政の責任についても「税務署の建替えを止められ、大規模な用地を取得できたことは重要」と開きなおり、反省の態度を示しませんでした。区長は一度も答弁に立たず、委員の質問に不規則発言を繰り返していました。

「継続審査」を求める動議　与党の反対多数で否決

議案審議は６時間に及びましたが、さまざまな疑惑が払しょくされるどころか、さらに深まる状況となりました。区の説明責任が果たされないなか、自民・無所属・維新クラブの委員が、引き続き議案の調査・審議を行う必要があるとして「継続審査」の動議を提出しました。

日本共産党区議団は、財産交換そのものには反対の立場ですが、真相解明が行われていないとして継続審査には賛成しました。しかし、自民、公明、未来（民主）、平和の委員が継続審査に反対し、採決の結果、賛成多数で可決されました。

傍聴席からは、区民無視の計画強行に怒りの声が沸き起こりました。

総務財政委員会での各会派の賛否

総務財政委員会（10名）		継続審査への賛否		財産交換への賛否	
会　派	議　員	賛成	反対	賛成	反対
自民	浅井くにお		○	○	
	はなし俊郎		○	○	
公明	大槻城一		○	○	
	中村康弘		○	○	
未来	河津利恵子		○	○	
共産	金子けんたろう	○			○
自無	佐々木浩	○		退席	
平和	けしば誠一		○	○	
美杉	田中ゆうたろう	○		退席	
※委員長は採決に参加しない		３名	６名	６名	１名

□佐々木議員（自無）、田中議員（美杉）は採決時に退席
■継続審査の動議：反対多数で否決　■財産交換議案：賛成多数で可決

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

解明すべき問題は山積
区民不在の「財産交換」は撤回を！

審議のなかで問題点が次々と噴出しました。

●要望書

H22年に区長が財務書あてに出した要望書は、その存在自体、議会にも隠されてきました。しかも、保存期間3年で廃棄されるなど、管理のあり方にも問題があります。「隠ぺいしていたのでは？」との疑惑も拭いきれません。

●不動産評価額の正当性

あんさんぶる荻窪と税務署等用地の不動産鑑定評価額については、事業者により評価額が大きく異なり、さらに、2年前に行われた評価とも大きな乖離があります。

区は「地価の変動等の影響」としていますが、十数億円もの乖離としては不十分な説明です。

そもそも、現在使用されている施設同士を財産交換することはきわめて異例のことで、手間も時間もかかり、検証が難しいと言われています。

鑑定評価時期	あんさんぶる荻窪	税務署等用地
今回の議案	43億4千万円	43億1千万円
平成26年3月	29億9千万円	27億9千万円

●複合施設建設に約40億円

天沼の税務署跡地に建てられる複合施設の建設費はこれまで30億円程度と示されていましたが、今議会の答弁では39億円程度とさらに増額。莫大な税金が注ぎ込まれる計画です。

区民の願いに背を向ける区長追従の与党

日本共産党区議団は「財産交換の発端は、特養ホーム整備のためでなく、区長による駅前開発の失政を取り繕うためであり、複合施設の建設に39億円など莫大な税金の無駄遣いにつながる。住民が築いてきたコミュニティを壊し、子どもの居場所を奪う計画に、住民の合意は得られていない」として反対しました。

自民、公明、未来、平和の委員は、区長を擁護し「大規模特養が整備され、医療と介護の連携体制の強化につながる」などと述べ賛成しました。

「あんさんぶる荻窪の存続を」と訴える区民の願いに背をむけ、財産交換に賛成した議員の責任は重大です。

50名を超える人々が傍聴しました

説明会を一度も開かず 住民無視の田中区政

区は、地元町会や利用者が再三にわたり開催を求めた財産交換についての説明会を一貫して拒み続け、施設再編整備計画についての説明会さえも、荻窪南側で一回も開いてきませんでした。さらに、昨年３月には、区長が荻窪地域の町会に乗り込んできて、まだ議会で議決されてもいないのに「財産交換はもう決まったこと、撤回できない」などと言い放つなど、区側の対応は本当にひどいものでした。

財務省は「地元の理解は重要」と指摘しています。

いまからでも、説明会を開くべきです

予算特別委員会で徹底追及

財産交換の議案は、３月16日の本会議で最終的に採決されます。成立すれば今年7月から税務署隣接の公務員宿舎跡地に複合施設の建設工事が始まります。財産交換を止めるためには、区民の世論が必要です。

日本共産党区議団は、３月２日から始まる予算特別委員会で引き続き追及するとともに、財産交換の撤回に向け、みなさんと全力で取り組む決意です。